



2019 Asian Rowing Championships 参加報告

国際審判員 (1781) 市川 愛

国際審判員 (1793) 成田 泰久

1. はじめに

10月23日(水)～27(日)の日程で、韓国・忠州にて開催されました Asian Rowing Championships に参加しましたので、ご報告いたします。本派遣を推薦して頂きました日本ボート協会関係各位に御礼申し上げます。

本報告書は、審判各部署の役割・業務、設備・用具、号令・動作について纏めを行い、今後の国際大会で審判を行う国際・国内審判の参考になることを目指しました。今後の日本ボート界の国際化に少しでも役立つことができればと思います。

本大会は、総勢 25 か国、選手 318 名、スタッフ 101 名の参加となりました。日本からは、NTT 東日本をはじめ全日本選手権での優勝クルーが、日本代表として参加権を与えられ（男子：7 種目（うち軽量級 3 種目）、選手 30 名、スタッフ 9 名、女子：6 種目（うち軽量級 3 種目）、選手 16 名、スタッフ 5 名、パラ：3 種目、選手 7 名、スタッフ 5 名）、熱戦を繰り広げました。

なお、大会の様子は、主催者撮影のユーチューブをご参照ください。（ドローン空撮もあり）

Oct 26th <https://www.youtube.com/watch?v=ZYh0UmQk0oQ&t=12961s>

Oct 27th https://www.youtube.com/watch?v=EgNM90TB_rA&t=1339s

2. 大会概要

(1) 大会 2019 Asian Rowing Championships

(2) 期間 23rd to 27th of October 2019

(3) 会場 Tangeum Lake Rowing Venue, Chungju, KOREA

7 lanes × 2000m regatta course

※2013 World Rowing Championships 開催会場

(4) 種目 Lightweight Men (LM) Events: 1x, 2x, 4x, 4-

Lightweight Women (LW) Events: 1x, 2x, 4x

Men (M) Events: 1x, 2x, 4x, 2-, 8+

Women (W) Events: 1x, 2x, 4x, 4-, 2-

Para Men Events: PR1 M1x

Para Women Events: PR1 W1x

Para Mixed Events: PR2 Mix2x, PR3 Mix2x, PR3 Mix4+

Group A M1x, M2x, LM4x, M8+, W1x, W2x, LW1x, LW2x, W4-, PR1 M1x, PR1 W1x

Group B LM1x, LM2x, M4x, LM4-, M2-, LW4x, W4x, W2-, PR2 Mix2x, PR3 Mix2x, PR3 Mix4+

3. 参加クルー

2019 Asian Rowing Championships (Entry List)																							Oct 10 2019		
No.	Country	A										B										Participants			
		M1x	M2x	LM4x	M8+	W1x	W2x	LW1x	LW2x	W4-	PR1 M1x	PR1 W1x	LM1x	LM2x	M4x	LM4-	M2-	LW4x	Athlete	Official	Athlete				
1	BAN		V																		1	2			
2	BRN										V										1	2			
3	CHN		V			V	V	V	V			V	V					V	V		6	14			
4	HKG			V		V		V	V		V		V		V	V					7	15			
5	INA							V	V		V	V	V			V			V						
6	IND		V		V	V			V		V		V	V	V	V			V		V	8	33		
7	IRI	V	V			V	V	V	V	V	V		V		V		V					9	17		
8	IRQ	V																			1	1			
9	JPN	V	V	V	V		V	V	V		V	V	V	V	V	V	V	V	V		V	20	52		
10	KAZ	V	V	V		V		V	V			V	V	V								4	15		
11	KOR	V	V	V	V	V	V	V	V	V	V	V	V	V	V	V	V	V	V		V	V	59		
12	KSA	V				V		V					V								3	5			
13	MAC		V			V						V									1	4			
14	MAS												V								1	2			
15	NEP	V																			1	1			
16	PAK											V									2	1			
17	PHI								V				V								1	4			
18	QAT	V																			1	1			
19	SGP					V															1	3			
20	SRI									V	V										V	2	8		
21	THA	V	V	V		V	V		V	V	V	V	V	V	V	V		V	V	V	14	26			
22	TPE	V			V	V			V				V		V				V		4	17			
23	UAE	V						V													1	2			
24	UZB	V	V	V	V			V				V	V	V		V				V	8	21			
25	VIE	V				V		V	V	V		V	V				V	V	V		4	13			
TOTAL		13	10	6	5	12	5	11	12	5	9	4	10	14	7	6	7	5	5	8	2	1	4	101	318
		92										69										419			

4. 大会日程

2019 Asian Rowing Championships

- Chungju, KOREA

V6 10.10.19

PROVISIONAL PROGRAM

Friday Oct 18th	Saturday Oct 19th	Sunday Oct 20th	Monday Oct 21st	Tuesday Oct 22nd	Wednesday Oct 23rd	Thursday Oct 24th	Friday Oct 25th	Saturday Oct 26th	Sunday Oct 27th
--------------------	----------------------	--------------------	--------------------	---------------------	-----------------------	----------------------	--------------------	----------------------	--------------------

Daily Training Times					Daily Training Schedules 07:30 - 09:00, training resumes 30minutes after the start of the last race of the day until 18:00hrs.				
10:00 - 12:00/ 15:00 - 18:00		09:00-12:00/ 14:30-18:00			8:00 Jury Meeting	Jury Meeting	Jury Meeting	Jury Meeting	Jury Meeting

9:30 Venue Open	9:30 Venue Open	10:00 Para-rowers Classification	8:30 Venue Open	8:30 Venue Open	8:30 Venue Open	9:30 HEATS W1x(H1) 9:38 W1x(H2) 9:46 M1x(H1) 9:54 M1x(H2) 10:02 M1x(H3) 10:10 LW1x(H1) 10:18 LW1x(H2) 10:26 M2x(H1) 10:34 M2x(H2) 10:42 LW2x(H1) 10:50 LW2x(H2) 10:58 LM4x(P) 11:06 W2x(P) 11:14 W4-(P) 11:22 M8+(P)	9:30 HEATS LM1x(H1) 9:38 LM1x(H2) 9:46 W2-(H1) 9:54 W2-(H2) 10:02 M2-(H1) 10:10 M2-(H2) 10:18 LW4x(P) 10:26 LM4-(P) 10:34 W4X(P) 10:42 M4XH1) 10:50 M4X(H2) 10:58 LM2x(H1) 11:06 LM2x(H2) 11:14 LM2x(H3)	10:00 S- FINALS M1x(S1) M1x(S2) 10:30 PARA HEATS PR1 M1X(H1) PR1 M1X(H2) PR1 W1x(P) PR3 Mix4+(P) PR2 Mix2x, PR2 Mix4x(R) 11:00 S- FINALS LM2x(S1) LM2x(S2)	9:30 FINALS B W1x 9:38 M1x 9:46 LW1x 9:54 M2x 10:10 LW2x 10:18 PARA REPS PR1 M1X R 10:30 PARA F A PR1 W1x 10:50 PR2 Mix2x, PR2 Mix4x 11:15 FINALS A W1x 11:30 M1x 11:45 LW1x 12:00 M2x 12:15 LW2x 12:30 LM4x 12:45 W2x 13:00 W4- 13:15 M8+	9:30 PARA F B PR1 M1X PARA F A PR1 M1X PR3 Mix4+ 10:10 FINALS C LM2x 10:45 FINAL B LM1x 10:53 W2- 11:01 LM2x 11:08 FINALS A LM1x 11:20 W2- 11:30 M2- 11:45 LM4x 12:00 LM4- 12:15 W4x 12:30 M4x 12:45 LM2x		
			11:00 Equipment test	11:00 Practice Start	11:00 W2x(P)	11:00 LM2x(H2)	11:00 LM2x(H3)	11:00 LM2x(H3)	11:00 LM2x(H3)	11:00 LM2x(H3)	11:00 LM2x(H3)	11:00 LM2x(H3)
			12:00 Rescue Rehearsal	12:00 Rescue Rehearsal	12:00 Rescue Rehearsal	12:00 Rescue Rehearsal	12:00 Rescue Rehearsal	12:00 Rescue Rehearsal	12:00 Rescue Rehearsal	12:00 Rescue Rehearsal	12:00 Rescue Rehearsal	12:00 Rescue Rehearsal
			14:00 ARF/TD/OC Meeting	14:00 Team Manager Meeting	14:00 Team Manager Meeting	14:00 Team Manager Meeting	14:00 Team Manager Meeting	14:00 Team Manager Meeting	14:00 Team Manager Meeting	14:00 Team Manager Meeting	14:00 Team Manager Meeting	14:00 Team Manager Meeting
	15:00 Jury Meeting	15:00 Jury Meeting	15:00 Jury Meeting	15:00 Jury Meeting	15:00 Jury Meeting	15:00 Jury Meeting	15:00 Jury Meeting	15:00 Jury Meeting	15:00 Jury Meeting			
	16:00 Opening Ceremony, Nation Dinner	16:00 Opening Ceremony, Nation Dinner	16:00 Opening Ceremony, Nation Dinner	16:00 Opening Ceremony, Nation Dinner	16:00 Opening Ceremony, Nation Dinner	16:00 Opening Ceremony, Nation Dinner	16:00 Opening Ceremony, Nation Dinner	16:00 Opening Ceremony, Nation Dinner	16:00 Opening Ceremony, Nation Dinner			

Entry Summary 2019 ARCH									
GROUP A		GROUP B		PARA GROUP A		PARA GROUP B			
W1x	12	LM1x	10	PR1 M1X	9	PR2 Mix2x	2		
M1x	13(12)	LM2x	14	PR1 W1X	4	PR3 Mix2x	1		
LW1x	11(10)	W2-	8			PR3 Mix4+	4		
M2x	10	M2-	7						
LW2x	12	LW4x	5						
LM4x	6	LM4-	6						
W2x	5	W4x	5						
W4-	5	M4x	7						
M8+	5								

the red marks indicate what may not participate in the UAE.

5. 参加審判員

POJ: 千田隆夫氏、IT016 名 (Spares2 名が繰上)、NT0 (HNG2 名) が参加。

【President of Jury】

SENDA	Takao	JPN	1230
-------	-------	-----	------

【Juries】

CHEUNG	Wai Lun	HKG	1731
WONG	Kar Man Camen	HKG	1780
GUPTA	Sandeep	IND	1536
ICHIKAWA	Manami	JPN	1781
HAN	Kyunghwan	KOR	1632
HWAHG	Young Sang	KOR	1634
KAY	Dong Hoon	KOR	1635
KHAING	Mon Mon	MYA	1655
TUN	Bo Bo	MYA	1705
KHAN	Imtiaz	PAK	1195
LERIN	Jercyl	PHI	1493
OMAR	Razemin	SGP	1556
SAID	Suzanna	SGP	1710
WELIKALA	Lasantha	SRI	1700
NARITA	Yasuhisa	JPN	1793
SONTAYANANON	Sijnee	THA	1776



6. 担当部署

日付	市川 愛	成田 泰久
Oct 23rd	Assistant Starter	Control Commission(OUT)
	Control Commission(OUT)	Umpire5 (Dynamic Umpiring)
Oct 24th	Umpire2 (Dynamic Umpiring)	Finish Judge
	Boats Weighing	Umpire4 (Dynamic Umpiring)
Oct 25th	Judge at the Start	Control Commission(IN)
Oct 26th	Finish Judge	Umpire3 (Dynamic Umpiring)
Oct 27th	Control Commission(IN)	Athletes Weighing
		Boats Weighing

※計測は、Swift Racing。発艇の Rising Start System は、設置使用されず。

7. 会場施設



事前計量所



左 Control Commission 右 Athletes Weighing



Athletes Weighing

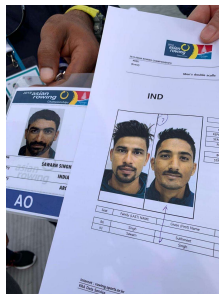
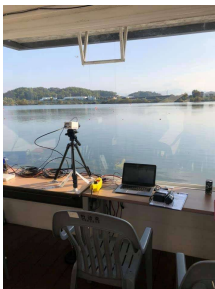


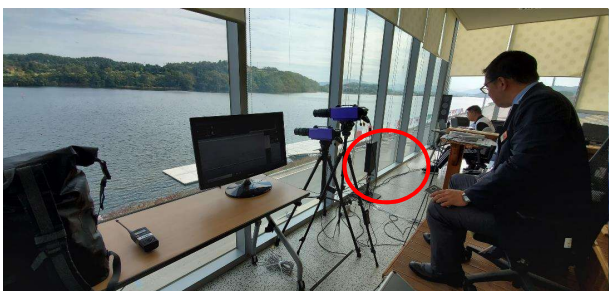
Photo Book の写真に誤りがあった事例



Start area



Judge at the Start



Finish area (白旗は使用せず White light にて対応)



Boats Weighing

Swift Racing による計測



主審艇棧橋



Umpire (Dynamic Umpiring にて対応)



8. 大会における特記事項

(1) Advertising について

Advertising Rules を理解していないクルーが多数あり、繰り返し指導をする方針にて対応を行った。



(広告位置の誤り)



(広告が過大)



(outboard に広告)

(2) 発艇 (初日) に関して

Red および Yellow マーカーがなかったため、警告はアナウンスのみで対応した。また、スタートシグナルが2種類あったため (元々設置されているものではなく、下部に取り付けられた青い小さめのシグナルを使用)、午後からは必要のない方を隠す対応を取った。

また、軍用飛行場が近くにあるらしく、海の森水上競技場と同様に、大きな飛行音が聞こえることが多々あった。発艇定刻にこだわらず、臨機応変に発艇させることで対応した。



(3) 艇計量について

計量時、シート固定紐を付けているクルーが二つあったが、外させて計量するべきであったと考える。

(別大会では、ごく軽量なものであるため、わざわざ外させるべきではないという判断もあったようだが、今大会では、艇重量がギリギリなものもあったため、公平を期すため、艇重量に含まないものとして、あらかじめ外して軽量するべきであった。)

また、事前計量を行ったクルー (UZB PR2M2X) から、艇重量が不足しているが、おもりを持参していないのでどうすればよいかという質問があった。審判長および OC に確認し、ペットボトルに砂を入れて対応してもらうこととなった。他にも、ペットボトル (砂入り) をテープで固定した状態で事前計量に来たクルー (IND) があった。



このことについては、代表者会議で艇のおもりの固定 (積載方法) について周知されることに繋がった。

(4) 線審モニターについて

線審小屋にモニターがあり、線審はそれを確認するとこのことだったが、画質がやや粗く、時々フリーズするような状態であったため、実際のスタート時は画面ではなく発艇線上を直接視認した。

また、フォルススタート時はスペースキーを押して前の画面を映せると聞いたのでやってみたが、スター

トの瞬間をピンポイントで映し出す操作がうまくいかなかった。便利な機能ではあると思うので、マニュアルあるいは操作の説明があればよいと思った。（今回は、設備を知る人にプライベートな場面で個人的に聞いた。）

（５）濃霧によるレース遅延（最終日）

審判団がコースに到着した７時半時点で、岸からコース内が視認できないほどの濃霧が発生していた。練習での発艇は禁止されており、レース日程の変更はまだアナウンスされていない状況であった。監視チームは本来のレース日程に基づいて業務を開始したが、レース時刻の変更を知りたいクルーからの問い合わせが多数あった。審判団にはレースの遅延が伝えられていたが、正式なアナウンスはなかったため、選手からの質問には未定と答えるように指示があった。しかし、当初の発艇時刻に合わせて計量する選手がいる一方、更新される時刻に合わせての計量でよいと誤解している選手もいたことから、選手側への配慮や後述する COX 計量 (DW) の問題を考えても、何時からレースが行われるのかが定まらない状況であっても、遅延するの可否かや、COX 計量の時間 (当初の発艇時刻に基づいて行うこと) については、先にアナウンスするのが望ましいと感じた。



結果、最終日最初とその次のレースは、それぞれ 30 分遅れ、25 分遅れで行われた。

（３レース目からは定刻どおり）

（６）PR3 Mix4+の FA (IND) COX 計量時に DW 発生

前日まで、DW 対象クルーがなく、NT0 も DW の小石等を準備していなかった。急遽、ペットボトル (砂＋水) にて DW を作成し対応。当時、DW 作成トラブルや濃霧によるレース開始時間の度重なる更新で Control Commission は、混乱気味であった。そのため、審判長への情報共有はできていたものの、監視長から各関係部署に DW 対象クルーが伝達されず、DW 携行確認は桟橋監視でのみ行った。

（７）Protest について

最終日の第一レース、Race No. 61 PR1M1X (FA) のフィニッシュ後、表彰クルーではない IND が、フィニッシュを少し越えた水域で留まったまま、桟橋に戻ってこなかった。最初は次のレースを見ているのかと思ったが、どうにも様子がおかしい。２レース後のクルーが桟橋に戻ってくる頃ようやく桟橋に近付いてきたが、なかなか桟橋につけようとしないう。事情を確認すると、フィニッシュ後に、レースに対する異議を唱えるべく挙手 (objection) したが、主審に気付いてもらえなかったとの主張 (異議の内容は、KOR クルーの上位が flexible な状態であったため、PR1 の条件に該当しないというもの) であった。結局、艇をあげた後、書面で異議申し立てを行う (protest) こととし、Board of Jury が対応に当たった。

このような状況になった原因として、前述した濃霧の影響で Race No. 61 と次の Race No. 62 のレース間隔が 5 分短縮されたが、Race No. 61 の全クルーが漕了するまでにかなりの時間を要し、白旗が揚げられる頃には、Race No. 62 が近くまで迫っていたため、主審に迅速な対応が求められたことが挙げられる。しかしながら、主審は「クルーの様子を注視したうえで白旗を揚げる」ということは言うまでもなく、当該レースが FA であったことを思えば、今回のような事態を生み出すにすむ審判の対応が求められるであろう。ただ、今回のように次レースのクルーが迫ってきている状況で objection があった場合の対応については、研修材料に取り上げるなどして生かせればとよいと感じた。

なお、結果としては、KOR クルーは先だっの FISA 大会にも PR1 で出場しており、PR1 に該当すると判断され、protest は棄却されたようである。

（８）艇計量対象クルー (VIE の LW4X→2 位、W4X→3 位) が、同じ艇を使用していることが発覚

Race No. 69 (LW4X) で 2 位になった VIE が、表彰桟橋につけずに戻ってきて、さらに帰艇桟橋と境界ブイ

を越えて出艇桟橋に向かってきた。艇速も出ていたため、慌てて静止を求めたが、実はその後の Race No. 71 (W4X) でも同じ艇を使う予定だったようで、出艇桟橋につけて即座に選手が乗り換え、バウナンバーを換えて出艇していき、LW4X クルーは桟橋から歩いて表彰式に向かった。W4X の選手は出艇桟橋の監視にその旨を伝えていたようだが、帰艇桟橋にはそれが伝えられていなかったため、監視長からの情報共有が欲しかった。また、いかなる状況であっても、航行ルールを無視し、危険な状況を作ることは好ましくない考えるので、少なくとも水上にいたマーシャルに先導してもらうなど、より安全に対応できるようすべきであったと感じた。(クルーが最寄りの審判に予め説明しておくことが不可欠)

結局、LW4X (2 位) も乗り換えた後の W4X (3 位) も艇計量対象クルーであったため、W4X の表彰式後、2 クルーの艇として一度で艇計量を行った。

9. その他

(1) ARF CONGRESS において

今後のアジア大会開催地や 2020 東京オリンピックについての議題があった。FISA のローランド会長も来場。スライドにて Coastal Rowing を強く推奨し発展させる旨の説明に印象が残った。



(2) Tangeum Lake ツアーについて

レース期間中は好天続きであり、最終日を除いて遅延等はなかった。そのため、大会三日目を終えた午後、韓国の審判の方々がご厚意で Tangeum Lake 上流の観光ツアーを急遽計画してくれ、遊覧船ツアーを楽しませていただいた。



(3) 日本選手の結果について

メダル獲得数：中国 8 個 (うち金 8)、イラン 7 個 (うち金 2)、ウズベキスタン 6 個 (うち金 3)、日本 6 個 (うち金 1)、インド 5 個 (うち金 1)



<https://www.jara.or.jp/message/201911.html>》、アジア選手権に力を入れ大選手団を派遣した理由は大きく 2 つ。

- ① これまでの日本は ARF (アジアボート連盟) への協力度が低いと捉えられ、アジア各国 (ひいては FISA) から批判の声が挙がっていること。さらに海の森水上競技場の今後の活用も視野に入れ、アジアボート界の中核として強化・普及に尽力すべきだと考え、それがひいては日本自体の強化にも繋がると考えたこと。
- ② 中国は先般の世界選手権を見ても、すでにボート強国の地位を築きつつある。また昨年 of インドネシアでのアジア大会で実感したのは、アジア各国のボート強化が急速に進み、日本と同等、あるいはそれ以上の力をつけた国が 4~5 ヶ国出てきていること。

以上

【補足資料】

部署	役割・業務
President of Jury	他の役員との連携の中には、Fairness Committee から Lane Allocation (使用レーン) を確認し、各審判に伝達する業務が含まれる。
Umpire (×6)	決勝 (Final A) 以外は基本 5 分間隔で Zonal Umpiring。自分の担当 Zone で接触・妨害が起きそうな時は Dynamic Umpiring に切り替え、基本的に Finish まで追行する。
Starter	呼び込み、警告の伝達、2 分前黄色灯の点灯、ユニフォーム確認を含め、基本的には 1 人で行う。
Assistant Starter	発艇業務については、アシスタントに徹する。 Zonal Umpiring 時には「最初の Umpire」として 150m までを担当する。
Judge at the Start	発艇線は見ずスクリーンを凝視。フリーズした画面で False Start を認めた瞬間、赤ボタンを押してレースを止める。Aligner は、NT0 が担当。
Resp. Judge at the Finish	決勝線は見ずスクリーンを凝視。Result Sheet の内容 (区間タイムの整合性も) を確認し、問題がなければ「Race XX, Official !」と叫び、署名をする。
Judge at the Finish	1 人で着順を見極め、クルーが決勝線を通過する毎にバウナンバーを叫ぶ (NT0 は、通過時にブザーを押す)。主審が白旗を揚げたら、それに呼応して「White Flag !」と叫び、NT0 に白ランプ点灯を促す (白旗の代わり)。
Resp. Control Commission	CC 審判・補助員を統括する (艇計量対象クルーの伝達も含む)。
Control Commission (Out Pontoon)	出艇しようとするクルーを Pontoon の手前で止め、広告・ストレッチャー等を短時間に確認する。並行してボランティアが選手との写真照合、GPS・バウナンバー取り付けを行う。
Control Commission (In Pontoon)	艇計量 (及び Doping) 対象クルーに Pontoon から降りる時点で伝達する。ボランティアは艇計量場に誘導する (Doping のシャペロンに手渡す)。
Athletes Weighing	デッドウェイトは、袋に小石を入れてテープで巻く。熱圧着シーラーを使うこともある。
Boats Weighing	バウナンバー、ストロークコーチなどを外させ、艇を返して直接計量器に乗せる。ストレッチャー内に水分を含ませた靴下等が詰め込まれていないか、つま先を外から押して確認する。